



国土交通省
信濃川河川事務所

記者発表資料

平成23年4月18日

大河津分水殉職者の慰霊式典を執り行います。

第76回大河津分水殉職者慰霊式を、次のとおり執り行いますので、お知らせします。

日時	平成23年4月22日(金) 10時00分～11時00分
場所	燕市大川津 (信濃川河川事務所 大河津出張所 構内)
主催	北陸地方整備局 信濃川河川事務所 大河津出張所
式次第	別紙のとおり
出席者	別紙のとおり

式典には一般の方も参加できます。(ただし、献花は式典中ではなく、式典後をお願いします)

※一般参加の事前申し込みは不要ですが、式典当日に大河津出張所(1F)での受け付けが必要です。

【参 考】

○大河津分水の概要

越後平野は、信濃川等が運び出した土砂によって形成された沖積平野であり、大河津分水路ができるまでは、3年に1度は洪水被害の発生する水害常襲地帯でした。

大河津分水は、江戸時代からの悲願が実って、明治42年に着工し、大正11年に通水しましたが、昭和2年の自在堰の陥没によりその機能を失ったため、突貫工事により復旧され、昭和6年に完工しました。

通水以来大河津分水は、90年近くにわたって越後平野を洪水氾濫から守り続け、地域の発展を支えてきたもので、越後平野の社会経済活動の維持・発展のためには最も重要な施設です。

○大河津分水殉職者慰霊式について

慰霊のための式典は、分水工事の15年間(明治42年～大正12年)における殉職者のため、渡辺丈二・田沢実入・石原三保吉等(有志・在官者等)が発起人になって寄付金を募り、大正12年10月に西蒲原郡国上村字石湊地先(現燕市渡部)の大河津分水路河畔(夕ぐれの岡)に慰霊碑を建て、招魂祭を執行し、遺族を弔慰したのが始まりです。(当時、殉職者84名の氏名を石碑「大河津分水工事殉職之碑」に刻印)

翌大正13年10月には、第1回目の慰霊の式典を執り行い、以来2～3年毎に秋に実施していましたが、昭和11年5月には分水第二公園(現出張所構内)へ遷座し、その後は毎年桜の咲く時期に実施(戦時中及び終戦直後一時中断)しています。

現在は、その後施工された信濃川補修工事及び大河津分水完工後、維持管理等を行う上で殉職された16名(昭和40年度が最終)を含め、100名の氏名が石碑に刻印されています。

取り扱い:本資料の発表をもって解禁とする。

記者発表クラブ

長岡市政記者会

三條新聞社

問い合わせ先

北陸地方整備局信濃川河川事務所
大河津出張所 出張所長 堀内 崇志
電話) 0256-97-2121

注意 : 携帯番号へは、『非通知』設定では
着信できません。

慰靈式 式次第

1. 開式の辞
1. 黙 禱
1. 主催者式辞 大河津出張所長
1. 挨拶 信濃川河川事務所長
1. 来賓挨拶 大河津分水改修促進期成同盟会長 新潟市長
1. 来賓挨拶 信濃川・中ノ口川治水事業促進期成同盟会長 三条市長
1. 来賓挨拶 燕市長
1. 献 花 参列者全員
1. 閉式の辞

慰靈式 出席者(予定)

新潟市 市長
 議会議長
三条市 市長
 議会議長
燕 市 市長
 議会議長
長岡市 市長

燕警察署長
長岡地域振興局長
三条地域振興局長

北陸地方整備局長
北陸地方整備局河川部長
信濃川下流河川事務所長
信濃川河川事務所長

大河津分水改修促進期成同盟会長
信濃川・中ノ口川治水事業促進期成同盟会長

白根郷土地改良区理事長
亀田郷土地改良区理事長
新津郷土地改良区理事長
西蒲原土地改良区理事長

燕市大川津区長
燕市五千石区長

平成22年度 式典状況写真 (H22.4.16)



慰霊碑 (大河津分水工事殉職之碑)



挨拶 (北陸地方整備局長)



来賓挨拶 (三条市長)



献花 (北陸地方整備局 河川部長)



献花 (燕市五千石区長)